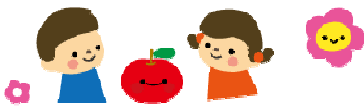


薬の豆知識

VOL. 15 小児感染症



お子さんを持つご家庭では、小児の感染症は気になる部分ではないでしょうか？今回は暑い時期に流行る小児感染症についてお知らせしたいと思います。

冬場はインフルエンザウイルスが活動的になりますが、夏場と言うと高温多湿環境で活発になるアデノウイルス、エンテロウイルス、コクサッキーウイルスなどが有名です。

*プール熱



アデノウイルスが原因ウイルス。

便や唾液から感染、特にプールの水から感染する確率が高く、7～8月のプールに入る時期に流行ることが多い。正式には咽頭結膜炎とも言い、特に小児に多い。

潜伏期間は5～7日とされ、高熱を伴いノドと目の両方に炎症を起こし、3～5日程度続く。この他に頭痛や鼻水、下痢などの一般的な風邪の症状が出ることもある。

治った後もウイルスが咽頭や便からうつることがあり、重症化するケースもある。

同様に、アデノウイルスによる流行性結膜炎もプールで多い感染症の一つである。

*手足口病



原因ウイルスはコクサッキーウイルス、エンテロウイルスなど原因ウイルスは10種以上ある。

感染してから3～5日後に口の中、手のひら、足底などに水疱性発疹が出る。発熱はまれにあるが、長く続くことはない。ほとんどが感染しても軽い症状で終わることが多いが、まれに髄膜炎などの合併症を引き起こすこともあり注意が必要。

*風疹



原因ウイルスは風疹ウイルス。

初春から夏の終わりにかけて多発する。最初に顔の発疹から始まりすぐに全身に広がる。リンパ腺が腫れているのが特徴。多少の熱を伴い4～5日で症状は引いていくが、リンパ腺の腫れは数週間続くことがある。症状が引くまでは幼稚園や学校を休ませるようにする。



とにかく手洗い！今回挙げた3つに共通して言えます。「自分はキレイだから大丈夫！」と思っ
ていても、意外とバイ菌やウイルスが付いていることがあります。帰宅時、食事前、屋外でのレジャ
ーの際には、爪や指の間までしっかり丁寧に洗う事が必要です。

さらに、体全体の免疫力を高めることも大切です。免疫細胞を強化するビタミンA・C・E、腸を
元気にする乳酸菌や食物繊維などを意識して、バランスのとれた食事を摂りましょう。

